



ここにきて...

インフルエンザ猛威を振るう

親が子どもにきちんとした関心を

持っているかどうかはすぐに分かります

「子どもの自由意思を尊重する」と口にする親は、無責任であることが多いです。反対に、厳しいくらいのお父さんやお母さんの方が、子どもの現実をきちんと見て、子どもに嫌われても言うべきことを言います。自由尊重のタイプの親は、おおむね子どもを実際の年齢よりも子ども扱いします。逆に厳しい親は、子どもを年齢相応の大人として見ています。

長じて子どもが成人近くなった時、親を敬愛するのは厳しく育てられた方です。自由尊重タイプの子どもの自立できず、結局いつまでも親が養う羽目になる。「好きなことを何でもさせて不自由なく育てたのに...」敬愛どころか中には親に対して暴君のように振舞うケースも出てきます。

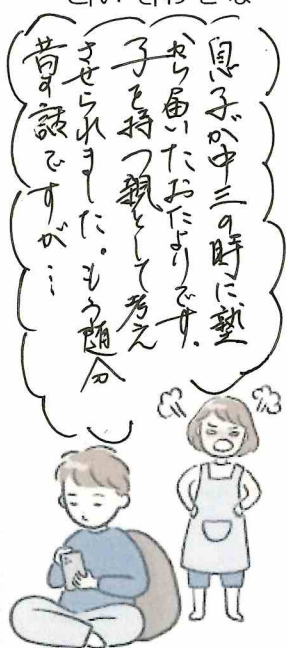
なぜこういうことになるのかをきちんと考えてみる必要があります。おそらく非常にシンプルなのです。「子どもは無意識のうちに親のエゴやうそを見抜いている」ということだと思っています。子どもは小さい頃は理論や説明はできませんし、どんな子どもでも親を喜ばせたい思いを持っていきますので、親に合わせます。けれど、人間は年齢にかかわらず人間としての深い知恵を持って生まれてきますので、そこに嘘があるとき、わかっているのです。親の愛から出た言葉なのか、親のエゴから出た言葉なのかを識別してしまうのです。けれど、理論的な説明ができないので「困らせる態度」でそれを知らせます。今一度、お父さんやお母さんに顧みてほしいと思います。自分の子どもを一人の大人として見ているかどうかを。たとえ3歳の子でも、親は大人に接するような礼節を持つべきです。もちろん衣食住は親の責任です。けれど、食べさせているから子は親よりも小さな存在であるということではありません。親と対等です。

対等ですから、その年齢なりの礼節を子どもが守らなければ毅然と注意すべきなのです。子どもには、それを理解する能力も守る能力も備わっています。それを言うすに、子どもだからと、したいようにさせていたら、その子は親を信頼しません。親が子どもを信頼していないから当然です。子どもの能力を過小評価して、きちんと向き合わないからです。

うちの塾に入りたいと希望してくれる生徒の全員に入ってもらえるわけではありません。入る前に「ここでは伸びないと思います」と断るケースがかなりあります。また、入ってから、ここまではですが退塾を勧告することもあります。ある意味子どもに罪はないのです。保護者の方が時間もなくに守れない子に育てたり、学校の規則を守れないように育てたのです。中には「うちの子のどこが悪いんですか!」と抗議されるケースもあります。「子どもではなく、お母さん、あなたです!」と言いたいけれど、もちろん言いません。

せっかく入ってもらったら伸びなければ意味がありません。気休めに来てもらうには、塾の月謝は安くはない。また、私も気休めの相手はしたくない。来たからには伸びてもらおう。以前から「厳しい塾です」とチラシにも毎回書いていたもので、本当に厳しいんだということをお願いもしてもらったようになりますが、それでも「入れば上がる」と思っておられる方がいます。そうではなくて、成果が上がっている生徒はみな、保護者の方がきちんと躾をされているのです。私は躾ができていない生徒を塾でしつけようとは思いません。それは保護者の役目です。

私は百年くらい前の道徳観で生きていると言われても仕方ないくらい古い考え方の人間です。人間にとつて大事なものが百年で変わるわけではない。百年前も今も、わたしたち一人ひとりに大事なものは「礼節」であると思っています。子どもの偉大な力や自立心を妨げているのが親であるケースがあまりにも多いことが、子どもたちと毎日接する立場にいるとよくわかるのです。どうか、真剣に子どもとかわってくださいます。



県下で猛威をふるっているインフルエンザで、いよいよ本校でも感染は止まらず、2年生が学級閉鎖となりました。今週予定していた生徒会役員選挙も来週に延期され、今週は少し寂しい1週間となりました。

今週「生きる」は保護者向けに書いてみました。一生懸命お母さんと向き合っている保護者にとって、少し失礼なお話になったかもしれませんが、どうぞお許しください。

岩谷家でも、なかなか家庭学習が定着しないお母さんの姿にやきもちし、とうとう塾頼り...となりました。自宅からやりと近づくという理由で通わせることにしたお母さん...。お塾長の先生が毎月発行されているおたよりがとっても楽しいです。上の記事はその一部です。教育に関する考え方を本当にストレートに伝えられていました。我が家の塾の様子を聞いたうえで、同級生が何人か退塾になった」とか「保護者の呼びだしがあった」とか耳にしました。

そんな厳しい塾ではありましたが、我が子はほんとに中学校の最後まで無事にこの塾で学ばせてもらうことが出来ました。学力が爆発的に伸びた...。かどかには微少でしたが親子ともどもこの塾から学んだことは多かった気がします。時代はうつり変わり、人の価値観も多様化して、可なり、本当に大切なものは失ってはいけません。